学校番号	304

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「現代高等保健体育改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート」（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎、基本的な運動技能、体力や筋力を高める。
・自他の運動を観察し、分析することで興味、関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わう。
・体育授業を通して、運動する、見る、支える、調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考える。

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康、安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正、協力、責任、参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用、発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携、協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康、安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動　体つくり運動	オリエンテーション 集団行動 ストレッチ 体ほぐしの運動 体力を高める運動 新体力テスト	○	○		○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮し、自己の責任を果たそうとすることなど、健康、安全を確保して学習に主体的に取り組むことができる。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。	受講態度の観察 ノート レポート
	水泳(女子)　武道(男子)	水泳 クロール 武道(柔道)	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にし、自己責任を果たそうとし、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けることができる。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解することができる。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

2学期	ダンス（女子）　水泳(男子)	水泳 クロール ダンス リズム感覚	○	○	○	○	a:武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にし、自己責任を果たし、健康、安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:武道の特性に応じた、攻防を展開するための得意技を身に付けている。 d:伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法を理解することができる。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	陸上競技	陸上競技 短距離走 跳躍種目	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、よい演技を讃え、マナーやルールを大切にし、自己責任を果たし、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身に付けることができる。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解することができる。	受講態度の観察 ノート レポート 体育理論のテスト
	体育理論	現代社会とスポーツ 競技スポーツの意義 スポーツの社会的役割 スポーツの始まりと変遷 スポーツの国際理解 ライフステージとスポーツ 文化としてのスポーツの関わり方 地域におけるスポーツライフ ライフスタイルとスポーツ	○	○		○	a:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組むことができる。 b:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、必要な情報を比較、分析し、まとめた考えを説明できる。 d:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、言ったり、書き出すことができる。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

3学期	陸上競技 ダンス	陸上競技 長距離走 マラソン大会 ダンス 創作ダンス リズムダンス	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように互いの違いや良さを認め合うこと、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にし、自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能やイメージを深めた表現を身に付けることができる。 d:技術やダンスの名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	球技 ネット型 ゴール型	ネット型 バレーボール ゴール型 サッカー	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にし、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身に付けている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	304

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「最新高等保健体育」（大修館書店）						
副教材等	「最新高等保健体育ノート」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎、基本的な運動技能、体力や筋力を高める。
・自他の運動を観察し、分析することで興味、関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わう。
・体育授業を通して、運動する、見る、支える、調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考える。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康、安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。公正、協力、責任、参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用、発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携、協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康、安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動　体つくり運動　球技	オリエンテーション 体ほぐしの運動 体力を高める運動 新体力テスト ゴール型 　バスケットボール 　ハンドボール ネット型 　テニス集団行動	○	○	○	○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができること、球技の楽しさや喜びを味わうことができる、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たし、健康、安全を確保して学習に主体的に取り組むことができる。 b:健康の保持増進や体力向上のために運動を計画できること、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。	受講態度の観察 ノート レポート
	水泳(女子)　武道(男子)	水泳 　平泳ぎ 武道(柔道)	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にし、自己責任を果たし、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けることができる。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解することができる。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

2学期	ダンス(女子)　水泳(男子)	水泳 　平泳ぎ ダンス(創作)	○	○	○	○	a:武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にし、自己責任を果たし、健康、安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:武道の特性に応じた、攻防を展開するための得意技を身に付けている。 d:身体表現を通じてグループで作品を仕上げ、協調性の重要性やコミュニケーション能力を高める。また作品発表を通じて観察の方法を学び理解する。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	球技	ゴール型 　バスケットボール 　ハンドボール ネット型 　テニス	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にし、自己責任を果たし、作戦などについての話し合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身に付けている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 体育理論のテスト
	体育理論	スポーツの技術と技能 技能の上達過程と練習 技能と体力 体力トレーニング 運動・スポーツにおける安全の確保	○	○		○	a:スポーツの技術、技能、上達過程、練習方法、体力トレーニングについて理解し、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組むことができる。 b: スポーツの技術、技能、上達過程、練習方法、体力トレーニングにについて、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 d: スポーツの技術、技能、上達過程、練習方法、体力トレーニングについて、言ったり、書き出したりすることができる。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

3学期	陸上競技	陸上競技 長距離走 マラソン大会	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように互いの違いや良さを認め合い、よい演技を讃え、マナーやルールを大切にし、自己責任を果たし、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:各種目の特性に応じた技能を身に付けることができる。 d:体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	球技 ゴール型	ゴール型 アルティメット		○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にし、自己責任を果たし、作戦などについての話し合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身に付けている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	304

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新高等保健体育」（大修館書店）						
副教材等	「最新高等保健体育ノート」（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎、基本的な運動技能、体力や筋力を高める。
・自他の運動を観察し、分析することで興味、関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わう。
・体育授業を通して、運動する、見る、支える、調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考える。

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康、安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。公正、協力、責任、参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用、発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携、協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康、安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td>1学期</td><td>球技
ゴール型
ネット型</td><td>ゴール型
ハンドボール
アルティメット

ネット型
バレーボール
テニス</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組むことができる。

b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。

c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身に付けている。

d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。</td><td rowspan="3">受講態度の観察
ノート
レポート
技能観察</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>球技
ゴール型
ネット型</td><td>ゴール型
フットサル
バスケットボール

ネット型
バドミントン
卓球</td></tr>
<tr><td>3学期</td><td>球技
ゴール型
ネット型</td><td>ゴール型
フットサル
バスケットボール

ネット型
バドミントン
卓球</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。